

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(10:30~12:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	0人	10人

前回の改善計画	・今回、職員の担当の見直しも含め、新規利用者を中心に、利用者カードを作成・更新し利用者対応に活かす。
前回の改善計画に対する取組み結果	・新規利用者については情報共有を含めて出来てはいたが利用者カードの更新ができていなかった。 ・担当の見直しは行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	8	2	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	3	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・新規利用者の受け入れまでに、事前の情報をミーティングや申し送りノートで情報共有している。また口頭でも伝達している。職員の担当の見直しを行えた。 ・日々の記録でも知りえた情報を、ケース記録に残し休みの職員に伝わるようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運転が出来ない職員が、送迎時や訪問時に、家族と会えないことで関りが少ないと感じている職員がいる。 ・記録や申し送りが正確にできていない時があるため一部の職員しか知らない情報がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・新規利用者を中心に、事前情報の周知とともに更新し利用者対応に活かす。 ・家族との関りをミーティングで話せる機会を設ける	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(10:30～12:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が、望んでいる「～したい」についてミーティングや担当者会議を通して職員間で再度話し合い、実際の関わりの場面で実践する。</li> <li>・利用者の対応について優先順位や業務効率も考え、業務改善についても、継続して取り組む。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位や業務効率を考え、当日の職員とも相談し外出希望やお出かけには臨機応変に対応している。</li> <li>・希望がある場合には記録に残し当日にできないことでも情報共有することで希望に添えるようにしている。またミーティング時に話すことで職員全体の意識統一もできている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	8	0	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	1	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	2	0	10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	9	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリがしたいと希望がある利用者には、自宅にてリハビリを実施している。</li> <li>・職員の時間にならないように「いつしますか?」と聞くことを意識して声掛けしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の話をする時間を確保することが難しかった。</li> <li>・職員の時間配分になっているときがあった。</li> <li>・その日の「～したい」を把握することができなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族が「～したい」ことを把握するため自宅への訪問を増やす。また訪問できる職員を増やすことで話しやすい関係性に取り組む。</li> <li>・業務優先になっている場面があるため優先順位や業務効率も考え、取り組む。また業務改善についても、継続して取り組む。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 12月20日 (10:30~12:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	0人	0人	10人

前回の改善計画	・職員や利用者の入れ替わりもあった為、改めて登録利用者の食事、排泄、入浴等見直しを行い職員間で利用者情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者に入れ替わりがあった際にはその都度見直しを行っている。また記録を残し職員間の情報共有に努めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	7	2	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	1	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	7	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者対応の早見表をその都度更新し職員に周知出来ている。 ・その日の変化にも職員間で共有することができた。また勤務時間帯が違う職員には記録を残すことで周知できていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・訪問しかない利用者については関りがなく情報ととることができなかった。訪問に行く職員が限られている。 ・以前の暮らしを把握できていない利用者もいる。また昔のことを話したくない方や話せない方もいるため難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・以前の暮らしを本人からの情報だけではなく家族や友人に確認できるよう関係作りに取り組む。 ・その日の気持ちを確認するため関わる時間を密にとる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 12月20日 (10:30~12:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	4人	1人	10人

前回の改善計画	<p>・サービス評価を開始して以来、常に職員が利用者の生活している地域の民生委員や地域資源を把握出来ていない事が継続しているため、あらためて登録利用者の地域の民生委員や資源について確認する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・感染予防の規制が緩み面会や行事が再開されたことで地域との関わりを感じる事ができたが地域の行事にはまだまだ参加できていない状況が軽継続している。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	4	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	2	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	2	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	4	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・利用者の以前の関りから美容室など関係性の継続は出来ている。また自宅に帰宅した際には近隣の方との関りを継続できるように次の帰宅予定日を伝えている。</p> <p>・あったか広場の特色でもある世代交流を目的としたぼっかぼかさんとの行事も開催出来た。また地域住民が参加できる夏祭りや秋祭り行事も再開している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・自宅での生活の状態把握が不足し、来所持に怪我ができていることがありそのままになってしまったことがある。</p> <p>・民生委員との関りが少なく把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・近隣の方との関係を継続するために事業所にも来てもらう行事を企画する。また地域住民に向けた事業所案内会を開催する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 12月20日 (10:30~12:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	6人	0人	10人

前回の改善計画  
・ミーティングなどで利用者や来所者が事業所にとって、地域資源とは何か?職員間で意見交換する機会を増やす。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・ミーティングなどで話す機会はできたが改善するまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	8	2	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	8	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・学生ボランティアの受け入れを行うことができた。  
・その日の希望に合わせたサービスを柔軟に対応することが出来ている。(通い中止による訪問や配食など)

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・地域資源について意見交換をすることが出来なかった。  
・地域資源の活用は限られた部分だけになってしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・ミーティングなどで利用者や来所者が事業所にとって、地域資源とは何か?職員間で意見交換する機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(10:30~12:00)

6. 連携・協働

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	0人	10人

前回の改善計画	・地域への行事や会議へ参加した職員や管理者が内容や状況を職員に報告する事で、実際参加出来ない職員が関心を持てるように伝達していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の会議には限られた職員しか参加できていないが情報を共有することはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか?	0	7	1	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	5	2	3	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	6	1	2	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	4	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・少しずつぽっかぽかさんとの行事も増えている。また今後も増やす予定で検討している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域の会議に(管理者として)参加しているが、内容について職員と共有するという点では不足している。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・地域への行事や会議へ参加した職員や管理者が内容や状況を職員に報告する事で、実際参加出来ない職員が関心を持てるように伝達していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日 (10:30~12:00)

7. 運営

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を通して地域のニーズを確認し合いながら、協力体制が整うように事業所として取り組む。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>月毎に担当職員が中心となり、壁面制作や、外出行事等企画し実施出来た。</li> <li>運営推進会議では地域のニーズを確認することはできたが実行には移すことが出来ていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	7	2	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	0	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	1	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	7	2	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議後に事業所内を見学してもらった。また来年度には事業所見学会を開催予定。</li> <li>ぽっかぽかとの関りやぽっかぽか通信への寄稿は継続出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との交流は再開されたが協働した取り組みまではできていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を活用し地域のニーズを把握し共に考え協働する取り組みを計画する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日(10:30~12:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員の介護職員としての質を高めるため、引き続き職場内、外に問わず研修参加の機会を設ける。</li><li>・ ヒヤリハット報告書の活用については、利用者様の生活の安全に配慮出来るよう継続する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職場内外の研修に参加することが出来ているが、特定の職員になっている。</li><li>・ ヒヤリハット報告は回覧することで情報共有しリスクを意識することが出来た。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	8	1	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	3	3	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	5	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	7	0	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職場内の研修には積極的に参加することが出来た。またZoom研修も活用し取り組んでいる。</li><li>・ リスクマネジメントの視点でヒヤリハットについて報告書を活用し、職員にリスクを意識することが出来た。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自宅での転倒が多い利用者について自宅内の環境の配慮までは至らなかった。</li><li>・ スキルアップのための研修に参加することが出来ていない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員の介護職員としての質を高めるため、引き続き職場内、外に問わず研修参加の機会を設ける。</li></ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年12月20日（10:30～12:00）

9. 人権・プライバシー

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	9	0	0	10

前回の改善計画
・今回、職員同士の確認や発言等について改善途中であるため、継続したい。 →職員同士が日々、利用者の対応の場面で、言葉遣いやプライバシーへの配慮について不適切なケアになっていないか、確認し合いながら取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
・身体拘束や虐待の研修を開催し不適切なケアについて振り返りを行うことが出来、日々のケアに活かすことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	6	4	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	2	0	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・トイレや入浴の際には、利用者に対して配慮しながら声掛けする事が出来た。また周りの利用者にも注意しながらすることが出来た。 ・必要な方には成年後見人制度を活用しているが現在は利用していない。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用者同士の関係性で揉めていることがあり座席などの配慮に欠けている部分があった。 ・利用者との距離感が近すぎて慣れが出ているときがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用者との関係性を再確認し言葉遣いや態度を改める。またできていない職員にはその都度確認し適切でないケアに取り組む。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の特徴	「利用者一人ひとりの思い、家族の希望に寄り添います」「人と人がつながり、共に支えあい、共に笑い合える暮らしの輪を広げます」「住み慣れた地域でのその人らしい暮らしを支えます」「利用者の暮らしを支える全ての人々の思いを大切にします」をモットーに、ご家族や関係機関と連携して、自宅で生活する利用者様の24時間365日を捉えた個別ケアの提供を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム あったか	管理者	岡本 将宗		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	10人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が事業所の改善計画を把握出来るように事業計画に組み込み職員会で話し合うことで、共有し達成できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間で情報共有しながら支援を行っているが、日々の業務に追われてしまい、時間をかけた関わり方が出来ていなかった。</li> <li>「～したい」に結びつくよう向き合っているが、聞き取りや引き出すための関りが不十分であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の生きてきたストーリーを理解して取り組もうとしていることがわかります。また希望がある方に対してリハビリを進めるなど多職種との連携もしていると感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングの機会を作り 情報共有は行っているが、対利用者、対職員に対してのコミュニケーションの取り方を常に意識していく。</li> <li>ケア会議では日々の支援の見直しは引き続き行っていくが、短期目標の達成や、サービス内容の見直しも内容に組み入れ、利用者の望む支援に向けて評価を行い、実行に結びつけられるようにしていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の状態にあった私用物品の調整（福祉用具を含めた）や利用している部屋のしつらえ等の環境調整に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>泊りを利用している方に対し自宅で使い慣れた布団を持参してもらい安心して生活できる環境整備に取り組むことが出来た。また福祉用具は月に一回点検している。</li> <li>玄関には季節の飾りを配置し来所者に雰囲気を楽しんでもらうようにしている。また飾りが多くなりすぎないように気を付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症も落ち着いてきているので家族の来所するイベントや行事を増やしてもいいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温かみのある家庭的な雰囲気を大事にしながら、季節を感じられるような作品展示を行う。</li> <li>夏祭りや防災訓練等、地域の方や家族も参加できるように検討する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍前のぼっかぼか広場との行事を見直し、地域との関りを話し合い、事業計画に取り込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぼっかぼか広場との交流が増え、コロナ前のような関りが増えている。前年度は窓越しでの交流が多かったが、今年度は直接触れ合う機会も多くあり利用者と地域住民との世代間交流に繋がった。</li> <li>地域の福祉フェスタやお仕事フェスタに職員が参加する事で地域住民が事業所を知るきっかけになり相談出来る場所があるという周知をすることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生ボランティアの受け入れ等もあり出来る範囲で地域との関りに繋がる活動を行えていると思う。</li> <li>事業所と繋がりのある方は相談しやすいが、繋がりのない地域の方にしてみると敷居が高く感じられる方もいると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動への参加、ボランティアの受け入れ等を積極的に実施する。送迎時など、地域の方に積極的に明るい挨拶を行うことを心掛け、地域に馴染んだ明るい印象を持っていただく。</li> <li>福祉フェスタやお仕事フェスタには今後も参加し地域の方との関わりを深め、地域に必要な事業所と認識してもらえようように努める。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域座談会に参加し交流をすることで地域ニーズを把握して運営に取り入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会に参加し地域の方と交流することが出来た。また地域の要望で事業所見学会を開催予定となり調整中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会だけではなく地域のお祭り等、利用者と一緒に参加してもいいのではないか。</li> <li>近所でも独居で生活している方もいるため地域全体で支える体制づくりに期待したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座談会への参加は継続しながら、地域との繋がりを感じてもらえるよう、地域の行事や活動を把握し、参加できるよう計画する。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議のメンバーの見直し、会議での意見を職員会でも取り上げて改善に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議のメンバーは同じで見直しはできていない。</li> <li>防災について地域の訓練状況や避難時の注意事項など頂いた意見を職員会で周知することが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者の立場の意見は重要と考えます。今後も継続して一緒に考えていきたいと思えます。</li> <li>事故報告、ヒヤリハットなども運営推進会議で報告してみてはどうか。対応策も含めて報告することで取り組み内容が伝わりやすくなると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議での情報は職員会で共有し、地域との関わりに目を向けていく。</li> <li>運営推進会議で事故報告書、ヒヤリハットの報告を行い、対策も含めて事業所の取組を伝えていく。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPを含めた災害計画を職員間で共有し災害発生に備える。また災害訓練に民生委員等の地域住民に協力者として参加してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP研修や勉強会を実施し、防災管理について知識向上に努めている。また、定期的に防災訓練を実施し事業所全体で防災対策の周知と対応力を身につけるように努めた。また地域住民には防災訓練時に協力してもらい有事の際の訓練を一緒にすることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時には協力したいと思うので今後も訓練には参加したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有事の際には潤滑な避難、連携が図れるよう訓練時には地域住民の方にも参加してもらう。またBCPマニュアルについても説明し理解していただくように努める。</li> </ul>

